

農芸同窓会会報

編集・発行
三重県立四日市農芸高校
同窓会事務局
〒510-0874
四日市市河原田町2847
TEL 059-345-5021
FAX 059-345-6996

活性化に向けて

同窓会会長 別府 銀孝
(高校第八回・昭和三十一年卒)



会員の皆様には、如何がお過しでしょうか。平素は同窓会活動

ま、任期が終ろうとしておりますこと申し訳なく思っております。ご挨拶に代え、この機会に同窓会活動活性化に向けての取り組みについて、簡潔にご報告いたします。

結果に終わってしまいましたが、②一般会員が参加出来る総会の実現(学校側のご理解が得られ、一〇年振りに農芸祭一般公開日での開催が実現しました。このことは、総会充実のための大きな一歩となりました。③調査研究事業の実施(近隣校・関連校三〇校を対象に同窓会活動に関する実態調査を実施しました。多くの同窓会で活性化に向けての取り組みが大きな課題になっていることが分かりました。他に新入会員に配布する『入会の葉』の作成及び会員データ

の維持管理・会報発送業務の専門業者への委託等もお陰様で実現しました。

※次に平成二十九年の活性化に向けての努力事項について↓本年度は欲張らずに、次の二本柱に絞りました。会員皆さんの積極的なご参加ご協力を是非お願いします。①諸会議の充実・活発化(役員会・総会等への出席者の増大、実施内容の充実。既に今年度の総会では卒業生会員による講話の導入が実現いたしました。今後は総会時の目玉催し物になるのではないかと、大

きな期待を寄せております。②会報の更なる充実(会員ページの充実・拡大に努力を重ねます。幅広い会員皆さんからの積極的な投稿をお願いします。是非、気軽に近況、在学中の思い出等お寄せ下さい。卒業年次同窓会も重要な同窓会活動の一つです。幹事さん楽しい実施報告を是非お願いします。)

最後になりましたが、母校四日市農芸高校の更なる発展と会員皆様の一層のご活躍、ご健勝をお祈りしてご挨拶いたします。

心豊かな人間性を育む

校長 田牧 明浩



さて、今年の5月には「全国菓子大博覧会」が、伊勢市のサンアリーナで盛大に開催されました。

今年も残りあとわずかとなり、何かとあわただしい季節となりましたが、同窓会員の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃は、本校の教育活動に對しまして、温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

鹿川」をイメージしたもので、大好評でした。また、本校をはじめ、県内4校の高校生が「三重の食材」をテーマとした伝統的な工芸菓子の制作と展示にも挑戦しました。

100年以上の歴史を持つ「全国菓子大博覧会」で、このように高校生が参加することは初めての試みであり、三重県の専門教育のレベルの高さをあらためて全国に発信するいい機会となりました。

さらに、生活文化科では、「第28回きもの作品コンテスト」で文部科学大臣賞(最優秀賞)と全日本きもの振興会会長賞(優秀賞)をダブル受賞しました。文部科学大臣賞は、本校にとって5年ぶり2回目の受賞となります。

この作品は、浴衣の生地を染色から取り組み、手縫いで仕立てたすばらしい作品で、農芸祭でも披露されました。

農業学科では、「若年者ものづくり競技全国大会(造園)」で、3位と敢闘賞を受賞し、「技能五輪全国大会(造園)」も敢闘賞を受賞しました。

そして、「ご当地! 絶品うまいもん甲子園」では、生徒が考案した「マコモドッグ」が東海北陸地区で最優秀となり、2年連続出場での全国大会では、準優勝を受賞しました。

このようなすばらしい成果は、生徒のがんばりはもちろんのことですが、日頃の先生方による熱心なご指導の賜だと、校長として深く感謝しております。

十一月に行われた農芸祭公開日には、あいくの天候にも関わらず、同窓生をはじめとして多くの方に来校していただくことができました。また、同窓生の皆様には農産物等のご協力をいただき、大変お世話になりました。この場をお借りいたしましてお礼を申し上げます。

結びに、皆様が築いていただきました農芸高校の歴史と伝統に敬意を払うとともに、同窓会員の皆様に深く感謝申し上げます。

今後とも、地域に信頼される学校づくりと、心豊かな人間性を育む人材の育成に努めてまいりますので、同窓会員の皆様のご指導・ご支援をよろしくお願い申し上げます。



第28回きもの作品コンテスト
(右)最優秀賞『文部科学大臣賞』
3年生 市川 瑚子さん
(左)優秀賞『全日本きもの振興会会長賞』
3年生 加藤 朱音さん



第69回農芸祭(H.29.11.18)
[雨の中、多くの来場を頂きました]



H.29年度総会時に開催された講話
[高校第28回卒 桐生悦夫様]

河農の町へ

山本 金男
(河農第二十回・昭和二十四年卒)

農は国の大本也!!
 天災の東南海地震津波(一九四四、十二、七)最大の人災大東亜戦敗戦(一九四五、八、十五)

直後の昭和二十一年四月に運良く入学させてもらえた学校の玄関に大書されていた。当時、今では全く想像も出来ない食生活が最大の関心事で食糧増産が至上命令で有った。申し上げる迄も無く、食生活は地球上全人類普遍であり又命の基であります。その食糧を産み出すのが本質的に農業・水産業である事は誰でも判っているが、現在にはあまりにも恵まれ過ぎて(もったいないことですが)その大切な本質を見失いがちで有る(贅沢を言ったらきりが無い)。食糧即ち生命、その食を作るのが本質的に農水産業ですから、やはり農は地球全域共通の大本な

目的達成の近道(鉄則)
 先ずその本質を良く見極め、臨機応変、適材適所、人事を尽して天命を待つ。努力言動は実行して実る。全くその通り大切な事です。世間知らずの田舎者の私を、何とか人並みの人間にとの温かい親心で、多くの先輩方が学んでいた寄宿舎に入れてもらった私。井戸の中の蛙大海を知らず、小さな蛙が初めて大海。ビツクリ仰天の連続。小高い丘に建つ寄宿舎の窓から広大な伊勢平野(当時は今とちがいはほとんど田園でした)に田植えされた苗が日々青々と育って行くのを見て、田植機等も無く全くの手作業であるの広大な田園を耕作されている農家の人々の勤勉さに感動しました。(河原田の農家の学友宮田弘氏は、自分も朝四時頃から苗取り田植をして、登校するのだとのことでした)

親のような存在であった。その外にも大勢の先生方から一生の宝となる様々な教えを頂いて来ました。入学と同時に寮生活となり、当初は緊張で張り切っていたが、慣れてくると窮屈と空腹など次第にホームシックになり、夜フトンと覆って泣いていた。特に深夜内部川鉄橋を渡る夜行の貨物列車のボォーと鳴る汽笛は耳の奥にしみ込んでいます。

上級生による「シゴキ」は現在の「イジメ」でなく、伝統的に続いた生活の智慧に基づいた躰。私自身大いに役立つ事も多々あります。寮の北側の河原田神社にはよく御参りし、森の松ノ木から望郷の想い出、眼下の伊勢平野を眺めた。東には東洋一を誇った石原産業の煙突が地震で崩れ2/3残ったのが見え、南は故郷の山に繋がる伊勢鳥羽の遠景。西は御在所岳の鈴鹿山脈が長々と続き、北方には四日市名古屋方向の上空に御嶽山の雪を冠した山頂が浮かんでいて、今でもはつきりと覚えております。(当時ハスモツグは無かった)三年間だったが、縁有って同じ屋根の下、釜の飯を食い合った先輩・同僚は(四十名くらいだった)第二の家族兄弟のような絆が生まれ、永らく付き合いを続けておりますが、

人の常でお隠れになる学友の名も耳に入り残念でなりません。何故か河農には鳥羽、志摩、熊野灘沿岸地方の生徒が多く学んでいた様ですが、現在は誰も居ない様です。私は、二十四年最後の河農卒(会報五十一号の大野友通様は高校第一回卒です)で、一応無事卒業させて頂きました。我家は農地が少なく食っていけないので、丁度真珠養殖のブームが起ころいつ有ったなか、真珠の珠入技術の上手な彼女と結婚。多々の方々に助けて頂きながら真珠養殖を続け(妻は亡くなりましたが)幸して息子夫妻が後継して生活させて頂いております。寄る年波には勝てず、足腰がフラ付き海の仕事を危険なので、海に隣接した小さな畑を購入。「地球を救う大変革」著者 比嘉昭夫先生が開発されたEM菌を活用し、海を浄化し又土壌を改良し、作物の増収を目標に、無理せず頑張つて天から授かった人生を全うしたいものです(ちなみに私は来年末米寿です)。

《頭は白髪か丸坊主 思い出せない君の名は》卒業アルバムを見て、納得。おお〇〇君か、と云う状態の参加者が二十三名、毎回参加者が少なくなってきた。昨年〇〇君が無くなった、〇〇さんもよ。この歳になると寂しい報告が多くなりま。早々と旅立たれた方々を偲び、ご冥福を祈つて会の始めに黙祷を捧げました。

《歴史は古き河後に》と校歌を合唱して開会いたしました。続いて、幹事から《今日こうして参加することが出来た幸せを噛みしめ、残された人生を有意義に過ごしましょう》との挨拶で乾杯し、楽しい会が始まりました。久しぶりの再会に、

傘寿を祝つての同窓会

同窓会幹事一同
(高校第九回・昭和三十二年卒)

いつ訪れても素晴らしい景色の鈴鹿山脈の主峰、御在所岳のふもと、湯の山温泉《希望荘》で、十月十二日に同窓会を開催しました。私は昭和三十三年三月に四日市農芸高校を卒業して早六十年の歳月が過ぎ去りました。数え年八十歳、傘寿を迎えこれを祈念して御祝いの会としての開催いたしました。

に躓いたり転んだりします。日常生活の中で、身体を動かすことの大切さをお互いに再確認。昔話の《おじいさんは山に柴かき、おばあさんは川へ洗濯》という物語は、人間勤けるうちは、庭や畑の草取りや、神社、仏閣境内のお掃除など、身体を動かすことの大切さの教えたと思ひ、日々健康に気をつけて、次は八十八歳、米寿を祝う会で、お互い元気な姿で再開しましょう、と約束し楽しい傘寿を祝う同窓会を終えました。



四日市農芸高校昭和32年3月卒業同窓会 希望荘
 平成29年10月12日『傘寿を祝う会』

三友会と私の旅

伊藤 宗隆
(高校第十回・昭和三十三年卒)

三友会 私たちの学年は一般農業、園芸、畜産、家庭の四クラスで三という数字に縁があります。在学中の三年間、担任ボイコットなど数々の珍事件を起こして、その度に学級担任の故宮崎先生や各クラス担任の先生に散々ご苦労を掛けて、昭和三十三年三月三日、農芸高校と校名変更になって三年目の卒業。このことか

いかと誇らしく思いまきたのは、幹事長大橋徳紀さん、故堀喜澄さんらの気配りとご苦労があったからと感謝しています。
昭和六十三年三月、卒業後三〇年を迎え農芸高校の更なる発展を願って校章碑を校庭の一角に寄贈させて頂きました。ここ数年「三友会」を開いていませんが、八十才の年を目標に開催してはどの声が挙がっています。既に私たちは父母の年に近づき、又はそれを超えておりますが、人生八十年の時代でありますから、八十才はまだまだ青年の気持で人生の旅を続けたいもの

であります。
私の旅 職を去ってから二十年近くになります。今ではサル、イノシシ、シカと対決しながら山畑を耕しています。卒業した昭和三十三年には全く想像もしなかった現在の農村と農業の姿です。
この年月の中で印象に残っていることの一つに数年前にニューギニア・ビアク島への旅があります。太平洋戦争ではこの島で一万二千五百人の日本軍兵士が亡くなりました。戦争から七十余年も過ぎたのに、密林に入ると無念の死を遂げた兵士の遺骨が散乱していま

す。遺骨を集めローソクと線香をお供えして経を挙げ、祖国に戻れる事を願い慰霊の念をささげて参りました。
私たちは現状に不満を述べながら過ごしていますが、ビアク島の状況に接した時、人間とは誠に身勝手なものだと痛感しました。人生を旅にたとえて俳聖芭蕉は「月日は百代の過客にして行き交う年も又旅人なり」と「奥の細道」に記しています。出会いがあり、別れがあり、喜びがあり、悲しみがあり、楽しみがあり、苦しみがあります。と旅は続くのであります。

近況報告 今の仕事に至った経緯

近藤 啓太
(高校第六十七回・平成二十七年卒)

一、今の仕事に至った経緯
私は高校卒業後、農業大学校に進学をし、果樹専攻に入りました。けれど進路を考える際に一度は四年制の大学を目指していたのですが失敗して、農業大学校で農業の技術や知識を身に付けることになりました。高校入学時の頃から私は将来農業関係の仕事につきたいと思っていました。その

決めました。就職先は家族経営の農家で主にブドウとモモとキウイを栽培している農家に従業員として採用してもらいました。就職先を見つけた方法はアグリネットという農業の求人サイトから探し出した。色々な求人がある中、今の会社を選んだ理由としては、自分が将来栽培を行いたいブドウを生産していること、会社のホームページで見つけたのですが、「おいしい」といっても

という内容で私にはぴったり農家でした。自分のしたいことの第一歩がいまの仕事でこれが私の今に至る経緯です。
二、これからの思い
一番感じた事は、いま農業をできていることのありがたさです。高校や大学で学んできたことを少しは生かせる部分があり、農業に対する気持ちがあるの自分よりはるかに強くなりました。これから数年間は山梨県で今の会社で働き、農業の技術や知識はもちろん、気持ちの面でもっともっと成長していきたいし、何しろ農業をこれからやっていくには、根気がないと続か

ないと私は思っている。で、将来やりたい気持ちも忘れずにこれからもたくさんこのことを学び、お世話になった先生方やたくさんの方々に「おいしい」といってもらえるような果樹栽培を目指して日々鍛錬を積み重ねていきたいと思えます。



平成二十七年春の叙勲

(第二十四回危険業務従事者叙勲)

瑞宝双光章

水谷健三様

(高校第十六回・昭和三十三年卒業)

(元桑名市消防司令長)

永年にわたる消防功勞により授与されました
おめでとございます

平成二十七年秋の叙勲

(第二十五回危険業務従事者叙勲)

瑞宝单光章

保田保夫様

(高校第二十二回・昭和四十五年卒業)

(元亀山市消防監)

長年にわたる消防功勞により授与されました
おめでとございます

*昨年度、会報第五十一号において、掲載させて頂きました保田保夫様のお名前前に誤りがございました。ここに改めてご披露させて頂き、訂正とお詫びを申し上げます。

平成二十九年春の叙勲

瑞宝双光章

川村久美子様

(高校第十四回・昭和二十七年卒業)

保護司として永年にわたる更生保護功勞により授与されました
おめでとございます

平成二十九年秋の褒章

藍綬褒章

広田行雄様

(高校第十九回・昭和四十二年卒業)

(元鈴鹿市消防副団長)

永年にわたる消防功勞により授与されました
おめでとございます

平成二十九年年度

鈴鹿市・市政功勞者表彰

大嶋 薫様

(高校第十四回・昭和二十七年卒業)

(元鈴鹿市農業委員会委員)

永年にわたる農業委員会委員としての功勞により市政功勞者として表彰されました
おめでとございます



進路指導部より

進路指導主事 森下 善郎

本年もいよいよ押し迫って参りましたが、同窓会員の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて昨年度(平成28年度)の卒業生の進路状況につきましてご報告申し上げます。学校幹線の職種別では、生産工程・労務の職業に56名(前年62名)、サービスの職業に29名(同31名)、販売の職業に13名(同14名)、事務的職業に6名(同7名)、農業など専門の職業に3名(同4名)でした。その他自営等も含めた就職者は113名で、昨年より15名少ない結果となりました。求人件数は前年よりわずかに減少はしましたが、同窓会員の方々のお力添えもあり、就職希望者全員の内定をいただくことができました。改めて御礼申し上げます。

一方進路につきましても例年よりも進学の希望者が多く、4年制大学は31名(同10名)、短期大学は17名(同21名)、専門学校等は66名(同73名)という結果で、特に4年制大学への進学者が増えました。有名私立大学への進学数も増加し、国立も過年度生を合わせ2名が合格をすることができました。

今年度におきましては求人数が昨年を10名以上上回る665名となりました。県内で特に増えた職種は製造・製作が175名(同135名)で、販売につきましても100名(同74名)でした。今年度は就職希望者が多いのですが、希望者全員の内定には十分な求人数をいただくことができませんでした。ただ、男子の就職希望は40名ほどで、求人を探していただいた会社にお答えできる程の人数ではなく、多くの事業所様にはご迷惑をおかけすることとなっております。また、特に事務的職業を中心に競争求人も多く、協調性、コミュニケーション能力等をつけさせる重要性も感じました。進路につきましても1月の間に今年度も1月末に2年生全員のインターシップを計画しています。同窓会員の皆様には生徒の就業意識の向上のためにもご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

学習面での取り組みや生徒たちの活躍から

【農業学科】

<東海ブロック学校農業クラブ プロジェクト発表会>

- Ⅱ類 優秀賞 食品科学コース 「ふるさと愛をこめた独自ブランドの展開」
- Ⅱ類 優秀賞 自然環境コース 「守れ!地域の希少植物!!~植物資源の活用について考える~」

<東海ブロック学校農業クラブ 意見発表会>

- Ⅱ類 優秀賞 生産技術コース 2年生 重松 彩矢香 「タイの熱帯林を守る~集約型の農業をパーム椰子栽培に~」

<農林水産省など主催 ご当地!絶品うまいもん甲子園>

- 東海北陸エリア 1位 決勝大会 準優勝(生産局長賞)「ふるさと愛キュウツ!まこもドッグ」
- 販売情報コース 3年 水谷友紀、落合風花、兵頭春菜

<厚生労働省他主催 第12回若年者ものづくり競技大会>

- 造園 銅メダル 造園技術コース 2年生 位田 智哉
- 造園 敢闘賞 造園技術コース 2年生 岡田 道人

<平成29年度 第68回日本学校農業クラブ全国大会(岡山大会)>

- 【農業鑑定競技 優秀賞】
- 区分・農業 生産技術コース 3年生 中筋 理緒
- 区分・農業 生産技術コース 2年生 石田 敦大
- 区分・造園 造園技術コース 3年生 岡根 朋加
- 区分・森林 自然環境コース 3年生 内田 早苗
- 区分・園芸 園芸デザインコース 2年生 西村 彩代

<毎日農業記録賞 毎日新聞社主催、農林水産省など後援>

- 高校生部門 優秀賞 販売情報コース 3年生 兵頭 春菜
- 高校生部門 優良賞 生産技術コース 3年生 井上 夏樹

<危険物取扱者試験 乙種全類合格>

- 3年生 生産技術コース 池田 悠貴、伊藤 慧人
- 3年生 販売情報コース 尾崎 玲菜、一瀬 空良
- 3年生 食品科学コース 野々村 健慎

<厚生労働省主催 第55回技能五輪全国大会>

- 敢闘賞 造園 造園技術コース 3年生 浅井 広誠

【家庭学科】

<「お伊勢さん菓子博」商品販売>

- 「ギューキュットと三重ランタン」
- 製菓衛生コース平成29年3月卒業生 神保 佑衣

<平成29年度 お魚料理コンクール>

- 入賞 食物経営コース 3年生 有馬 茉優

<第14回名古屋文化短期大学高校生クッキングコンテスト>

- 学長賞 食物経営コース 3年生 服部 咲希

<日本編物検定協会主催 文部科学省後援 毛糸・レース編物技能検定試験>

- 入賞(努力賞) 服飾経営コース 2年 井上 瑠華、岡山 京乃、難波 莉子

<日本和裁士会主催 文部科学省後援 第28回きもの作品コンテスト>

- 最優秀賞(文部科学大臣賞) 服飾経営コース 3年生 市川 瑚子
- 優秀賞(全日本きもの振興会会長賞) 服飾経営コース 3年生 加藤 朱音

<三重県食肉事業協同組合連合会主催 食肉惣菜創作発表会三重県大会>

- 最優秀賞 製菓衛生コース 3年生 杉山 夏凜 (全国大会出場決定)



うまいもん甲子園決勝大会



「お伊勢さん菓子博」神保 佑衣(写真前列中央)

最近の部活動等における実績

<平成29年度三重県高校総合体育大会>

- 準優勝 登山競技 女子山岳(東海大会出場)
- 準優勝 柔道 女子体重別 3年生 伊藤 はるな(東海総体出場)
- 3位 女子バレーボール(東海総体出場)
- 3位 空手道 男子個人形 2年生 塩野 雄大(東海総体出場)
- 4位 ラグビー
- 4位 登山競技 男子山岳

<優秀選手>

- 三重県バレーボール協会優秀選手 3年生 祝 彩菜
- 三重県バレーボール協会優秀選手 3年生 原園 柚希

<平成29年度東海高校総合体育大会>

- 3位 柔道 女子体重別 3年生 伊藤 はるな

<国民体育大会出場>

- 女子バレーボール競技 3年生 祝 彩菜

<第39回高等学校商業実務総合競技大会三重県予選>

- 英文ワープロ団体の部 第6位 情報処理部(東海大会出場)

《訃報》
同窓会理事・元職員
(高校15回卒)
多田光教先生
ご逝去
平成29年8月23日、
同窓会理事多田光教先生
がご逝去されました。
先生は、永年本校農業教育並びにクラブ活動など多岐にわたる貢献として本校同窓会の発展にご尽力をいただきました。
ここに謹んで哀悼の意を表し、ご報告申し上げます。
ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

事務局からのお知らせ

◆ 会員、旧職員の皆様へご連絡とお願い ◆

- ☆改名、転居などにより、氏名・住所・連絡先等が変更になりましたら、同窓会事務局までご連絡下さい。同封の【異動通知連絡ハガキ】をご利用ください。
- お預かりする個人情報、厳正に管理を行い会報発送等に使用いたします。ご協力をお願い致します。
- ☆昨年度より、セキュリティ強化のため、同窓会員データ管理及び会報発送業務を業者委託しております。学年・クラス会等で名簿データの閲覧が必要な場合は、1回あたり3,000円(税抜)の利用料が必要となります。ご理解をいただきますようお願い申し上げます。
- ☆同窓会又は同窓会事務局の名を騙って、電話等により会員の情報を聞き出すとする事案が発生しております。同窓会からの電話調査や聞き取りは、一切致しておりませんのでご注意ください。

◆ ご寄付の御礼 ◆

- 平成27年11月に、高校第26回(昭和49年)卒業の同窓生の皆様が学年同窓会を開催され、母校同窓会へご寄付をいただきました。紹介させていただき、厚く御礼申し上げます。
- 平成28年12月に、河農第18回(昭和22年)卒業、故同窓会員様のご遺族様より、同窓会へご寄付をいただきました。謹んでご報告申し上げ、厚く御礼申し上げます。
- 高校第8回(昭和31年)卒業の皆様方が、毎年学年同窓会を開催されていましたが、傘寿を迎え打ち上げられました。この度、繰越金を同窓会事務局の方にご寄付いただきました。紹介させていただき、厚く御礼申し上げます。

◆ 会員のみなさまより会報の原稿を募集しております ◆

同窓生の皆様より、会報原稿をお寄せ頂いております。次号会報、原稿も募集しております。会員唯一の情報機関誌へ会員みなさまの「高校時代の思い出、近況報告、写真」等をぜひお寄せ下さい。

また、叙勲等お慶びのお知らせもお寄せください。(次号会報の原稿締切は、平成30年9月末日です。ぜひ事務局まで)

◆ 平成30年度 同窓会総会のご案内 ◆

来年度、同窓会総会を 農芸祭一般公開日(11月)に予定しております。

同窓生皆様のご参加をお待ちしております。

四日市農芸高校は、ISO14001認証取得校です。
全校挙げて、環境活動・環境教育に取り組んでおります。

三重県立四日市農芸高等学校 同窓会事務局
〒510-0874 四日市市河原田町2847
TEL 059-345-5021(代)
FAX 059-345-6996